

情報名	国選択・県指定無形民俗文化財 龍ヶ崎市の誇る民俗芸能 「撞舞 (つくまい)」
期日又は期間	令和元年7月28日(日) 夕刻
場所	茨城県龍ヶ崎市根町 撞舞通り
内容	<p>7月下旬に3日間行わる八坂神社祇園祭の最終日夕刻、市内根町の撞舞通りで行われるのが国選択・県指定無形民俗文化財の「撞舞 (つくまい)」です。</p> <p>撞舞は、高さ14メートルの柱に笛や太鼓の囃子に合わせて暗緑色のたっつけ袴に蛙の面をかぶった「舞男 (まいおとこ)」がのぼります。</p> <p>柱の頂上に俵ポッチ120枚でつくられた円座があり、そこで「舞男」は弓を引き、東西南北に向かって矢を放ちます。続いて、逆立ちしたり仰向けになったりと妙技の限りをつくした曲芸を見せて下におります。</p> <p>この撞舞には、雨乞いや豊作祈願、または疫病よけの意味があるといわれ、舞男が柱の上で四方に放った矢を拾った人は一年間災厄を免れるとされております。</p>
交通	<p>【自動車】圏央道牛久阿見ICから20km20分 駐車場100台(無料)※市役所駐車場を利用</p> <p>【公共交通機関】関東鉄道竜ヶ崎駅から徒歩10分</p>
問い合わせ先	<p>龍ヶ崎市撞舞保存会(市役所商工観光課内 担当:森下・櫻井)</p> <p>電話 0297-60-1536</p> <p>FAX 0297-60-1584</p> <p>E-mail syouko@city.ryugasaki.ibaraki.jp</p>
ホームページ等	http://www.city.ryugasaki.ibaraki.jp/



国選択・県指定無形民俗文化財

撞つ舞まい

令和元年七月二十八日
午後六時頃



会場：龍ヶ崎市根町撞舞通り



主催：龍ヶ崎市撞舞保存会 問合せ：龍ヶ崎市商工観光課 ☎0297-64-1111